

日本共産党の2議席は 政治を変える確かな力です

日本共産党



みなさんと力をあわせ 願いを実現してきました

● 父母のみなさんと運動ひろげついに実現

子ども医療費(18歳まで)の窓口無料化

署名や保育園まわり、市への要請など父母のみなさんと運動。

共産党議員団は条例提案も2回行い、2015年10月ついに窓口無料が実現しました。



声 子どもが3人。以前は医療費が払えず、ガマンさせたこともあったので、本当に助かります。

声 小さい子はすぐに病気になる。孫もりをするようになって、有難いと思っています。

● 住宅リフォーム助成制度

実施された3年間(H25~H27)で1億1500万円の地元の仕事が生まれました。復活させましょう。

● 国保税3千円引き下げ

H25年、世帯割を3千円引き下げ。



病児保育は年600人以上が利用。大変喜ばれています。

「住民が主人公」が モットー

企業献金も助成金も
受け取りません

日本共産党のモットーは「住民が主人公」。政治を汚す企業・団体献金も、政党助成金も一円も受け取りません。

自民党	175億円
公明党	30億円
おおさか維新	7億円
民進党	93億円
社民党	4億円
日本共産党	0円

これまで、これからも 9条と平和を守りぬきます

● 侵略戦争に命をかけて反対

— 戦後、憲法9条に実りました

日本共産党が誕生したのは1922年。戦争にむかう暗い時代に、弾圧で多くの党員が投獄され、命を失いながらも、「侵略戦争反対」をつらぬきました。

そのたたかいは、戦後の憲法9条に実を結びました。

- 「(反戦平和を貫いた)宮本さんは反戦によって日本人の名誉を救った」:加藤周一
- (宮本顕治元党議長の死去の際の談話から)

● 核兵器廃絶へ国民と力あわせて

— 史上初の核兵器禁止条約に貢献

今年7月7日、「国連会議」で、史上はじめて核兵器禁止条約を採択。「被爆者の訴えが世界に届いた」と核兵器廃絶へ大きな一歩を踏み出しました。

日本共産党は、日本の政党として唯一、この会議に参加。成功に貢献しました。



条約採択を喜ぶ会議参加者(赤旗写真部提供)

市民+野党

「アベ政治ノー」の 共同が広がっています

14年総選挙 沖縄で、野党統一候補が全選挙区で自民党議員を破り勝利。翌年、県知事選挙でも勝利。

16年参院選 野党統一候補が11の1人区で勝利。

16年 新潟県で「原発再稼働反対」の野党共闘の知事が誕生。

17年 都議選で市民の怒りが爆発。自民党を大敗北に追い込む。

佐伯ふみ子さん を市議会に



中小業者のため、母親大会、消費税をなくす会…

市民運動30年、暮らしによりそう“即戦力”

「税金は暮らしを支えるために」—この思いで頑張ります

「利益が出なくても、消費税は売り上げでとられる。身銭切るしかない」—消費税導入の時、多くの業者に訴えられました。30年以上にわたり業者の相談にのる毎日、「税金は暮らしを支えるために」と胸に刻んできました。

「いのちを生み出す母親は、命をうばう戦争を許しません」—決意新たに

母親大会の運動では、女性の権利向上、くらしや平和を守るとりくみを広げてきました。「いのちを生み出す母親は、命をうばう戦争を許しません」「自衛隊員・能美の若者を一人も犠牲にさせません」—決意を新たにしています。

主な活動地域:辰口地域、湯谷・泉台の団地地域、根上・浜小校下

業者の相談には親身になり、一緒に解決する。税務署との交渉では道理をつくし業者の権利と営業を守る。佐伯さんが議員になったら、こんな頼もしい政治家はいません。期待しています。
井上英明(小松民主商工会事務局長)

佐伯ふみ子さんを推薦します

- 島 隆雄(寺井病院院長)
- 浦島四郎(緑が丘5丁目、元町会長)

佐伯さんと一緒に
がんばります



衆院議員
藤野やすふみ



党新潟県常任委員
西沢 博



党加南地区委員長
本田 正和

日本共産党の2議席実現で、ご一緒に政治を変えましょう **日本共産党**